

中学校区におけるめざす子ども像 『自らを律し、自ら学び続ける子』										堺市立 八上小学校 校長 山下 眞由美			
令和8年度 重点目標 「よりよく生きる」～学習したことを活かす～ ①単元後の子どもの変容を見通した指導計画の作成及びその効果検証 ②家庭学習及び家庭教育の推奨 ③人権尊重の立場に立つ生徒指導 ④通常学級と支援学級の連携強化 ありがとうのあふれる楽校をめざしていく													
確かな学びの現状 昨年度の全国学力状況調査では、どの教科においても学びに向かおうと努力をする姿が見られた。特にわくわく問題において国語の「伝える」項目が上がっている。これは職員と児童、児童同士の対話を意識した授業の展開を行った結果だと考える。しかし、国語は読解力や作文力、算数においては発展的な内容には大きな課題が残されている。それらの課題解決のため視点を変え、今年度も理科において専科を配置し、子どもたちが意欲的に学習に取り組めるよう、教科横断的な学びを継続していく。また、どの教科、どの単元においても単元末を意識した授業を行い、研修全体会で効果検証する。児童一人ひとりが主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、授業改善を行っていく。					豊かな心・健やかな体の現状 子どもたち一人ひとりに居場所があり、楽しく学校生活を送ることができるよう、さまざまなことに子ども主体で前向きに取り組めるように指導を行う。今年度も5・6年生については、引き続きおむすびプロジェクトの中で、合鴨農法によるお米の生産体験・おむすびの商品開発や販売体験を通じて、豊かな心を育んでいき、後輩へ繋げていきたい。また、睡眠時間の確保、朝食の喫食率、基本的な生活習慣に関しても安心した生活を送ることができるようにように子どもへの指導を中心に各関係機関と一緒に頑張って取り組んでいく。								
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)		達成状況(年度末)				
									自己評価		学校関係者評価		
確かな学び	授業改善	「学習したことを生かす」授業の展開	●「活用できる」授業づくりのために教員の研修	学習した内容について、生活に生かされるような工夫がされていて、次の学習につなげることができる	全国学力学習状況調査・教員アンケート・保護者アンケートにおける肯定的評価	1学期末 3学期始							
			★授業規律の確立	安心して学ぶ環境が作られている		2学期末							
			ICT機器の活用	必要な場面でタブレットを活用した授業づくりをしている。		2学期末							
	学ぶ意欲の向上	学びに向かう力の育成	主体的・対話的で深い学びを実現する授業の展開	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。		◎・・・90%以上 ○・・・70%以上 △・・・40%以上 ×・・・40%未満	2学期末						
			家庭学習の積極的な取り組み	週1回以上子どもと一緒に過ごす時間がある。		2学期末							
豊かな心・健やかな体	安全安心な学校	すべての子どもが生き生きと、安心してすごせる学校	すべての子どもが安心して登校	いじめ等で人が困っているときは、進んで助けている。	全国学力学習状況調査・堺市児童生徒・学習生活状況調査における肯定的評価	2学期末							
				人の役に立つ人間になりたいと思う。		2学期末							
			主体的なコミュニケーションの向上	自ら進んであいさつすることができる。		◎・・・90%以上 ○・・・70%以上 △・・・40%以上 ×・・・40%未満	2学期末						
				健やかな体の育成		低学年は21時までに、高学年は22時までに就寝する。	2学期末						
地域協働・情報発信	地域協働	地域行事への積極的参加	地域行事への積極的参加	自治会の活動内容を知っており、地域行事に積極的に参加している。	保護者アンケートにおける肯定的評価	2学期末							
	情報発信	学校からの保護者や地域への情報発信	学校からの保護者や地域への情報発信	学校は、ホームページ等で子どもの様子を分かりやすく伝えている。	◎・・・90%以上 ○・・・70%以上 △・・・40%以上 ×・・・40%未満	2学期末							
校長より(年度末)								学校関係者評価者から(年度末)					